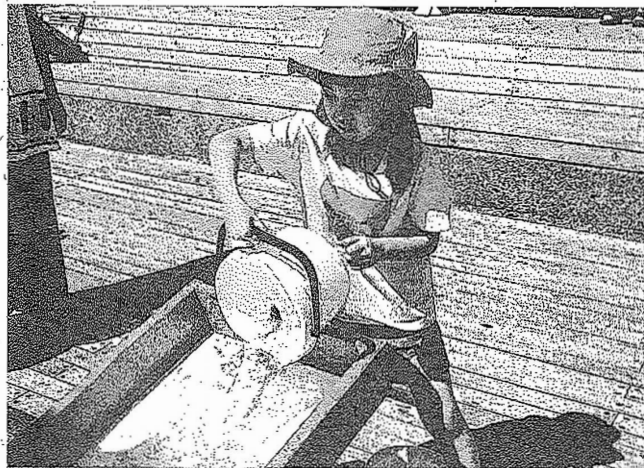


横須賀で稚魚放流と釣り大会

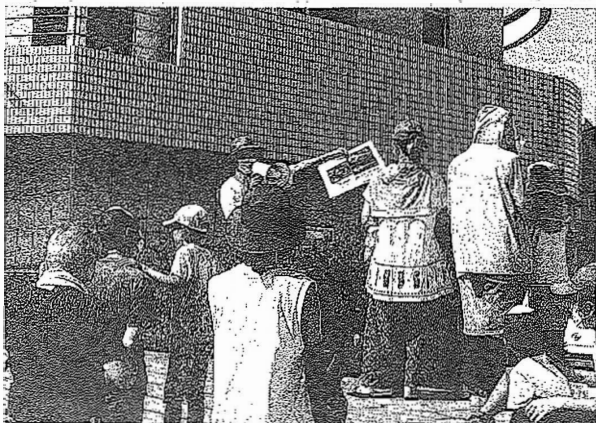
全磯連神奈川と日釣振神奈川



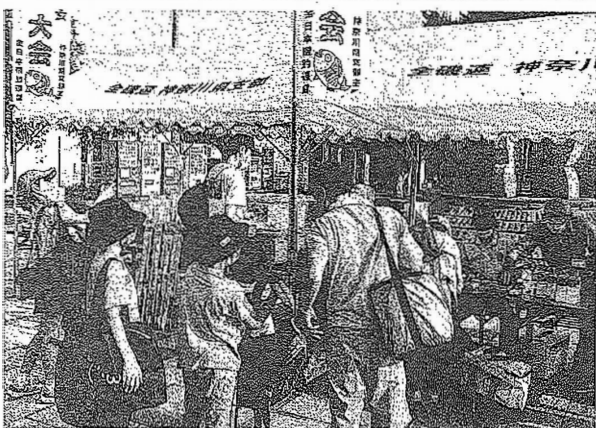
スロープを使ってちびっ子が放流

全日本磯釣連盟神奈川
県支部は7月24日(日)、
(公財)日本釣振興会神
奈川県支部と協力し、横
須賀市の海辺つり公園で
マダイの稚魚放流体験と
釣り大会を実施した。

この活動は、全磯連同
支部が「青少年・少女釣
り大会」(第24回)の一環
として行い、連携を図っ
ている日釣振同支部が運
営に協力。この日、公園
内での釣りを楽しんでいる
子どもたちを対象に参加
を呼びかけ、放流体験の
機会を設けた。



マダイの生育等について説明



全磯連神奈川県支部のブース



宇畑好二テストも参加

どもたちに説明した。

このあと、海に面した
安全柵まで移動。子ども
たちはバケツに小分けし
た稚魚を滑り台状のスロ
ープを使ってやさしく海
に放した。

稚魚は平均体長6cmほ
どで、合計1000尾を
放流した。子どもたち
にとって、生きた稚魚を放
流する機会は少なく、貴
重な体験の場となった。

当日は、全磯連所属で
マルキユーフィールドス
タッフなどを努める宇畑
好二さんが釣りのアドバ

イスを行つたファミリー
ーらと交流を深めたほ
か、地元企業のヤマリア
がテントを設営し、釣り
の疑問に答える相談など

初心者対応を行った。
朝方はタイチウオやサバ
が回遊し、大会ではカサ
ゴが各所で釣れたほか、
ショウサイフク、クサフ

グが高活性、大会が終わ
るところにはウルメイワシ
が釣れるなど、子どもた
ちは夏休み最初の日曜日
を満喫していた。